

令和7年度 秩父市経営方針

「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、 誰もがチャンスをつかめるまち」を目指して

第3代秩父市長に就任して以来、「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、誰もがチャンスをつかめるまち」を実現するべく、私が先頭に立ち、全身全霊をかけて市政運営に取り組んできました。

就任当初は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染者の発生を抑えることに専念すると同時に喫緊の課題を解決するために全力を尽くし、その後はロシアのウクライナ侵攻などによる物価高騰により市民生活や地域経済が大きな影響を受けましたが、最大限の支援を進めてきました。

行政の課題は常に変化しており、それに合わせた迅速かつ柔軟な対応が求められます。**現場に足を運び、直接目で見て、市民の声に耳を傾ける姿勢**を継続し、令和7年度も市民に寄り添った政策や魅力的な秩父市とするための事業を実施していきます。

子育て支援は引き続き最優先施策とします。秩父で育つ子どもたちが未来に希望を持てるよう着実に取り組んでいきます。併せて市民の皆さんが安心して暮らしていける**医療体制の確保、高齢者支援や健康長寿などの福祉・保健をはじめ、教育、産業・経済、財政健全化など、取り組むべき施策についても重点的に実行し、子ども・若者をはじめとしたすべての人が活躍できるチャンスの創出**につなげていきます。

そして、令和6年の能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報は市民の暮らしを守らなければならないという思いをより一層強くさせるものでした。過去の災害等を教訓に安心安全なまちづくりを進め、**住んでみたい、住み続けたいと思われる秩父市**にしていきます。

以下に令和7年度の経営方針を示しますので、職員一人ひとりが秩父市の将来を見据え、「**今我々が市民のために何ができるか、何をすべきか**」を考え、解決しなければならない課題に挑戦する気持ちを持ち続け、**市民の幸せにつながる行動に努めてください。**

○基本方針

<職員的心構え>

- 1 市民に寄り添い、市民のために何ができるか、何をすべきかを考えること
- 2 公正・透明で、開かれた市政(積極的な情報公開)を実現すること
- 3 スピード感を持って、目標値を定めて取り組むこと
- 4 より高い成果を目指すため、業務の変革に常に挑戦し続けること
- 5 未来に責任の持てる仕組みを構築するため、市の将来像を自ら描き、
業務にあたること

＜取組の基本方針＞

- 1 子育て支援策の充実
次世代を担う子どもを産み、育てやすい社会の構築
子育て世帯に対する経済支援の充実
- 2 高齢者支援策の充実
高齢者が自立した生活を送ることができる地域づくり
- 3 行政改革による、さらなる財政の健全化
ゼロベースでの事業の見直しによる無駄の排除
未来に責任の持てる財政運営
- 4 公共施設の有効活用
リノベーションによる公共施設の活用
ファシリティマネジメントの推進
- 5 地域医療・福祉の充実
安心して暮らせる地域医療体制の実現
産科医療の確保
障がい者支援策の充実
- 6 企業誘致と経済の活性化
オーダーメイド型企業誘致の推進
中心市街地の活性化
幅広い雇用機会の創出
- 7 安心・安全に暮らせる笑顔のあふれるまち
人口減少問題への取組
子ども・若者をはじめとしたすべての人が活躍できるチャンスあふれるまち
激甚化・頻発化する自然災害に備えた体制づくり
健康長寿のまちづくり

○令和7年度重点取組

- 1 子育て支援策の充実
 - 1-1 出産祝金の支給
 - 1-2 子育て支援拠点での相談業務の充実
 - 1-3 ネウボラの充実（結婚・出産・子育てまで一貫した相談・支援体制）
 - 1-4 ランドセルの購入補助等
 - 1-5 学校給食費の無償化
- 2 高齢者支援策の充実
 - 2-1 バス回数券の補助等
 - 2-2 買い物支援事業の推進
 - 2-3 デジタルデバйд対策（情報格差の解消）
 - 2-4 高齢者の社会参加の推進

3 財政の健全化

3-1 事業の取捨選択の実行

3-2 借入金の抑制（財源補填の無い起債の抑制）

3-3 財源確保の努力（補助金の有効活用やふるさと納税返礼品の強化・推進、市有地の売却）

4 公共施設の有効活用

4-1 旧秩父東高等学校の活用策の具体化

4-2 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく施設統廃合の推進

4-3 施設機能の集約化、機能廃止建物の解体、借地の返還

5 安心・安全に暮らせる社会の実現

5-1 自然災害に対応するための危機管理体制の強化及び施設の整備

5-2 「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」に基づくまちづくりの推進

5-3 女性職員プロジェクトチームなどによる人口減少問題への取組

6 市民サービスの向上

6-1 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進による利便性の向上

6-2 マイナンバーカードの普及と利用促進

6-3 体育施設・グラウンドの整備

6-4 公共施設における美術館機能の付加

6-5 地域公共交通計画に基づく二次交通の効率化

6-6 皆野寄居有料道路の補助検討

6-7 スズメバチ駆除費の補助

6-8 ふれあい懇談会や高校生との意見交換会など、市民の声の市政反映

7 産業振興

7-1 第75回全国植樹祭埼玉2025の成功に向けた取組

7-2 有害鳥獣対策の推進とジビエとしての活用の検討

7-3 高校と連携した林業就業者支援事業の実施

7-4 森林環境譲与税を活用した森林整備の推進と林業の活性化

7-5 研究機関の誘致を含めたオーダーメイド型企业誘致の推進

7-6 商店街と連携したテーマ性のある街並み形成の推進

7-7 コロナ禍からの地域経済回復と活性化

8 医療・福祉の向上

8-1 保健センターの将来像検討

8-2 市立病院の経営改善と建て替えの検討

8-3 二次救急医療体制の維持に向けた支援

8-4 産科を含めた地域医療体制の確保（医師・看護師の確保等）

8-5 障がい者福祉サービスの充実

8-6 障がい児レスパイトケアの充実（介護負担軽減の支援）

○上記以外の総合振興計画を推進するための事業

(複数年にまたがる継続的な取組を含む)

1 産業経済分野

多様で柔軟な働き方の選択肢を増やすことによる雇用機会の創出

高齢者の雇用期間の延長

通年観光の検討

豊かな自然や歴史・文化、アニメなどを活用した観光振興

秩父産木材の利用促進

自立した農業経営を行うための支援

2 医療・福祉・保健分野

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の推進

ちちぶ版地域包括ケアシステムの推進

障がい者福祉計画に基づく諸事業の推進

健康づくり計画「健康ちちぶ21」の推進

フレイル予防への取組の推進

新型コロナウイルスなどの既存感染症や新たな感染症に備えた医療体制の構築

3 子育て・教育分野

子どもの居場所づくりの推進

給食への地産オーガニック食材の活用

家庭・学校における心の教育の実践

小中学校施設の計画的な改修及び充実

ICT活用教育の推進

幼児期からの英語に親しむ環境づくり

生涯学習の充実

文化財の保存・活用

4 環境分野

脱炭素化に向けた「ゼロカーボンシティ秩父」の推進

スマートシティの推進（水素エネルギーの研究）

5 社会基盤分野

道路インフラの整備

電線地中化の推進

長尾根トンネル、定峰トンネルの開削推進

6 総合分野

広域連携(ちちぶ定住自立圏)の推進

関係人口・定住人口の増加のための取組

官民連携による地域活性化の推進

結婚支援事業の推進

スマートシティの推進（Society5.0事業、デジタル田園都市国家構想推進事業、デジタル地域通貨導入の推進）

7 行財政運営分野

行政改革の推進と行政評価の実施による事業の適正な遂行

中期財政計画及び財政健全化計画による健全な財政運営